

第4回

令和5年2月4日(土)

学生のための教師未来塾



今回は「学級づくり」・「授業づくり」研修!

2月4日(土)に今年度4回目の教師未来塾が行われました。今回は「学級づくり」と「授業づくり」をテーマとした研修です。講話や演習に模擬授業と、盛りだくさんの研修でしたが、80名の受講生の皆さんは、とても熱心に研修に取り組みました。

それでは、今回も研修の内容や受講した学生の皆さんの感想を紹介します!

1 講話・演習「学級づくり(児童・生徒理解)」

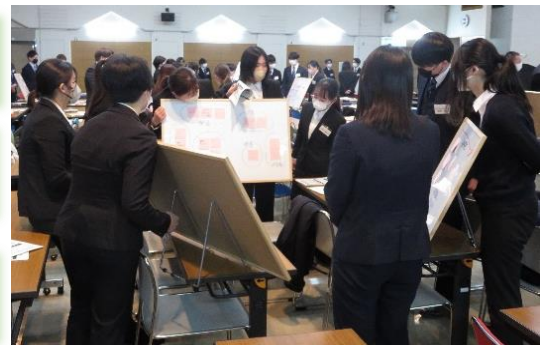


学級づくりについて考えるために、「生徒指導提要(改訂版)」等の最新の情報から児童・生徒理解のために押さえておくべきポイントについて学びました。そして、教師として子供たちのよりよい育ちのためにどのような関りが求められるのかを考えました。最後に、学校で起こりうる事例を基に、どのように考えたり対応したりすることが求められるかをグループごとに演習を行い、学び合いました。

生徒を理解するには傾聴が大切で、何か問題が起きた時は初期対応が重要だということを重視しながら行動したいと思う。

生徒指導は問題行動や非行に対して行うイメージがあったが、自分らしく生きていくための指導ということがわかった。

保護者からの電話があった時、事実・推測・要望という3点を意識して、落ち着いて対応したいと思った。



2 講話・演習「授業づくり(わかる・できる)」



「授業づくり」について考えるために、まず模擬授業を体験することから始めました。そして、その模擬授業を通して「『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム」(千葉県教育委員会)から、授業づくりのポイントについて学びました。さらに、「わかる・できる授業づくり」を支える「学習環境・雰囲気」、そして「学習規律」について、講師の講話を聞き、授業づくりについて考えました。

模擬授業を通して、実際の授業の流れやまとめの仕方などが具体的にわかったのでこれからの授業実践に活かしていきたい。

まず個人で考えさせて、次にペア、グループと展開していくことで生徒1人1人の考えを広げ深めていけることが分かった。この方法を授業の中に取り入れて、生徒が何を学んだかを明確にできるようにしたい。

わかる・できる授業づくりのためには、学習規律、授業の環境・雰囲気づくりが土台となることを学んだ。

